

## 協力者の方へ

### ●調査の目的

この調査は、みなさんに日本語で話されたことを聞いてもらいながら、その理解過程を母語で話してもらい、記録することが目的です。みなさんの聴解能力を調べるものではありません。これは聴解コーパス作成プロジェクト（リーダー：野田尚史）の一環として行われます。

### ●調査の前の準備

日本語でどんな人とどんな会話をしたいかをデータ収集者に伝えてください。たとえば次のような会話です。

初対面の人や友人との雑談

先生との論文についての相談

サークル活動の打ち合わせ

データ収集者から「調査協力承諾書」と「背景調査票」が事前に送られてきます。「調査協力承諾書」にはサインをし、「背景調査票」には必要な情報を記入しておいてください。

### ●調査の内容

最初に、希望に合わせて設定された場面の会話をしてもらいます。そのとき、会話相手の映像をビデオで記録します。

そのあと、ビデオを見て、相手の話について語句や文の意味をどのように理解したかを少しずつ母語で話してください。

理解した内容だけではなく、頭の中でどのようなことを考えながら聞いているかを話してください。推測したこと、わからないことや判断に迷っていること、解釈の変更などをそのまま話してください。

データ収集者が話されている内容について質問をしますので、それに答えてください。調査中に話したことはすべて録音されます。

### ●調査の日に持ってくるもの

調査の日には次のものを持ってきてください。

サインをした「調査協力承諾書」

必要な情報を記入した「背景調査票」

### ●調査実施責任者の連絡先

---